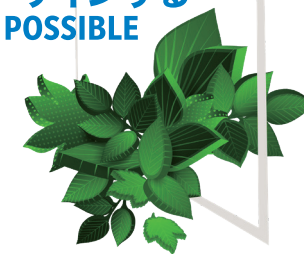




KONICA MINOLTA

多様な視点で  
印刷の未来をデザインする  
RETHINK WHAT'S POSSIBLE



# KONICA MINOLTA SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# SDGs



KONICA MINOLTA  
SUSTAINABLE DEVELOPMENT  
GOALS



SUSTAINABILITY  
STRATEGY


コニカミノルタが着目する社会問題と  
5つのマテリアリティ

人口増加、少子高齢化、デジタル革命の進行、バイオテクノロジーの利用拡大、世界構造の多極化、気候変動の深刻化など、複雑化するマクロ環境の中、将来の予測は難しくなっています。

このような不透明で不確実な時代であるからこそ、コニカミノルタのDNAを再確認しつつ、2030年にコニカミノルタが取り組むべき社会・環境課題を明確にし、そこから逆算して、企業として「今、何を成すべきか」、SDGsや、マクロトレンドから、2030年に想定される社会・環境課題を洞察し、「解決すべき社会・環境課題」と「コニカミノルタの事業成長」の両評価軸でマテリアリティ分析を行い、取り組むべき5つのマテリアリティ(重要課題)を2020年に新たに設定しました。



# 5 MATERIALITY

- 1 働きがい向上および企業活性化
  - 2 健康で高い生活の質の実現
  - 3 社会における安全・安心確保
  - 4 気候変動への対応
  - 5 有限な資源の有効利用
- 

## MATERIALITY



# 働きがい向上および企業活性化

働き方の多様化が進む中、コニカミノルタは場所を問わず生産性を高めクリエイティブな働き方を可能にするソリューションを提供し、個の生きがいや働きがいと企業の成長を支援していきます。

2030年に目指す姿

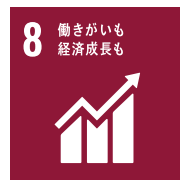
自社およびお客様・社会での生産性を高め、創造的な時間を創出し、個々が輝ける環境を整備

### コニカミノルタの 代表的な取り組み

- …事業としての取り組み
- …社内での取り組み

2021年8月時点

- 働き方改革と意思決定支援による顧客の生産性および創造性の向上  
企業の働き方改革を支援—Workplace Hub(ワークプレイスハブ) / 働き方支援ソリューション「いいじかん設計」
- オンデマンド生産による従来工程からのリードタイム短縮  
商業・出版印刷の環境負荷をデジタルで低減—AccurioJet(アキュリオジェット) KM-1
- 生産現場の検査工程自動化による創造的な時間の創出  
自動車領域に向けた外観計測事業
- 介護士のワークフロー効率化によるケアサービス提供時間の創出  
超高齢社会が直面する介護の課題にソリューションを—HitomeQ(ひとめく) ケアサポート
- 若手の早期抜擢や女性役員候補のパイプライン強化による、リーダーシップ人材の計画的な育成
- 「個が輝く」組織風土の実現
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進  
女性のキャリア形成支援 / 社外での経験・グローバル視点の活用 / 多様な人材の活用支援 / 障がい者雇用



MATERIALITY

# 2

## 健康で高い生活の質の実現

医療サービスのアクセス向上と社会保障費を低減するため、コニカミノルタは独自の遺伝子検査や動態検査技術を活用し、疾病の早期発見を実現、重症化リスクを低減することによる医療費の支出軽減に貢献します。また、介護スタッフの業務フローを改革するソリューションの提供を通じ、介護受入数の拡大を実現します。

2030年に目指す姿

自社およびお客様・社会での健康で高い生活の質を提供し、個々の豊かな生活を実現

### コニカミノルタの 代表的な取り組み

- …事業としての取り組み
- …自社内の取り組み

2021年8月時点

- 高付加価値医療の提供により患者のQOL向上と医療費削減の両立に貢献  
次世代の精密診断プラットフォーム(LATTICE™(ラティス))をグローバル展開  
正確で効率的ながん診断や創薬支援に貢献——個別化医療  
新興国の医療課題に「遠隔診療」で応える——ポータブル医療デバイスを活用した遠隔診療
- 介護士のワークフロー効率化によるケアサービス提供時間の創出  
超高齢社会が直面する介護の課題にソリューションを——HitomeQ(ひとめく) ケアサポート
- 健康経営の推進  
従業員の健康管理  
労働安全衛生



MATERIALITY

# 3

## 社会における安全・安心確保

非接触・遠隔で工場やプラントなどでの監視や検査を可能にします。現場で働く人の視覚能力の限界を超えた異常や危険を予知・予測することにより、事故を未然に防ぎ、工場や周辺地域社会の安心・安全の確保を目指します。

2030年に目指す姿

自社およびお客様・社会での生産性を高め、創造的な時間を創出し、個々が輝ける環境を整備

### コニカミノルタの 代表的な取り組み

- …事業としての取り組み
- …自社内の取り組み

2021年8月時点

- 労働安全支援ソリューションの提供  
画像IoTを活用したフォークリフト事故低減サービスを開始
- 品質検査など安全・安心領域のモニタリングへの進出  
ガスを可視化し、安全・安心と環境対策に貢献ーガス監視ソリューション／ガス漏洩検査カメラを活用した防災診断サービスの開発について
- 顧客先の情報セキュリティ向上に資するソリューションの提供
- 製品・サービス使用時における安全性確保の強化  
高信頼品質の実現
- 健康に影響を与える物質の排除  
製品の化学物質管理／生産活動での化学物質リスク低減
- 重大な情報セキュリティ事故の徹底排除  
製品・サービスのセキュリティ強化／情報セキュリティ



MATERIALITY

# 4

## 気候変動への対応

自社のCO<sub>2</sub>削減のみならず、印刷業界などにおけるお客様のワークフローを変革するサービスを提供し、お客様企業の生産性を向上することで、稼働時間の無駄をなくしエネルギー使用量削減に寄与します。

2030年に目指す姿

自社のCO<sub>2</sub>排出を削減しつつ、お客様・調達先でのCO<sub>2</sub>削減を拡大し、社会のカーボン量をマイナスに

### コニカミノルタの 代表的な取り組み

- …事業としての取り組み
- …自社内の取り組み

2021年8月時点

- オンデマンドプリント、オンデマンド生産でお客様の業務プロセスのエネルギー・CO<sub>2</sub>を削減  
商業・出版印刷の環境負荷をデジタルで低減—AccurioJet(アキュリオジェット) KM-1  
製品の省エネ・温暖化防止—印刷時の省エネルギーに貢献するUVインクジェットデジタル印刷機
- 地球温暖化対策の規制にともなうガス漏れ点検業務やコンプライアンス対応業務の効率化
- 材料を活用するプロセス技術でお客様のワークフロー上のロスやサプライチェーン間のロスの削減  
製品の省資源・リサイクル斜め配向の「QWPフィルム」により、偏光板メーカーの生産性を飛躍的に向上
- DXを通じたエコシステム「環境デジタルプラットフォーム」により、グローバルにお客様と連携・提供
- 自社拠点での環境負荷低減と原価低減  
サステナブルファクトリー認定制度／生産活動での省エネ・温暖化防止
- DXを活用したお取引先の環境負荷低減と原価低減  
グリーンサプライヤー活動
- 製品の環境負荷低減  
サステナブルソリューション認定制度



MATERIALITY

# 5

## 有限な資源の有効利用

コネクテッドワークプレイスやオンデマンド生産、画像IoTにより、お客様・社会の資源を有効活用する働き方、製造プロセス変革に貢献します。

2030年に目指す姿

自社資源の有効利用を進めつつ、お客様・調達先などでの資源の有効利用貢献量を創出

### コニカミノルタの 代表的な取り組み

- …事業としての取り組み
- …自社内の取り組み

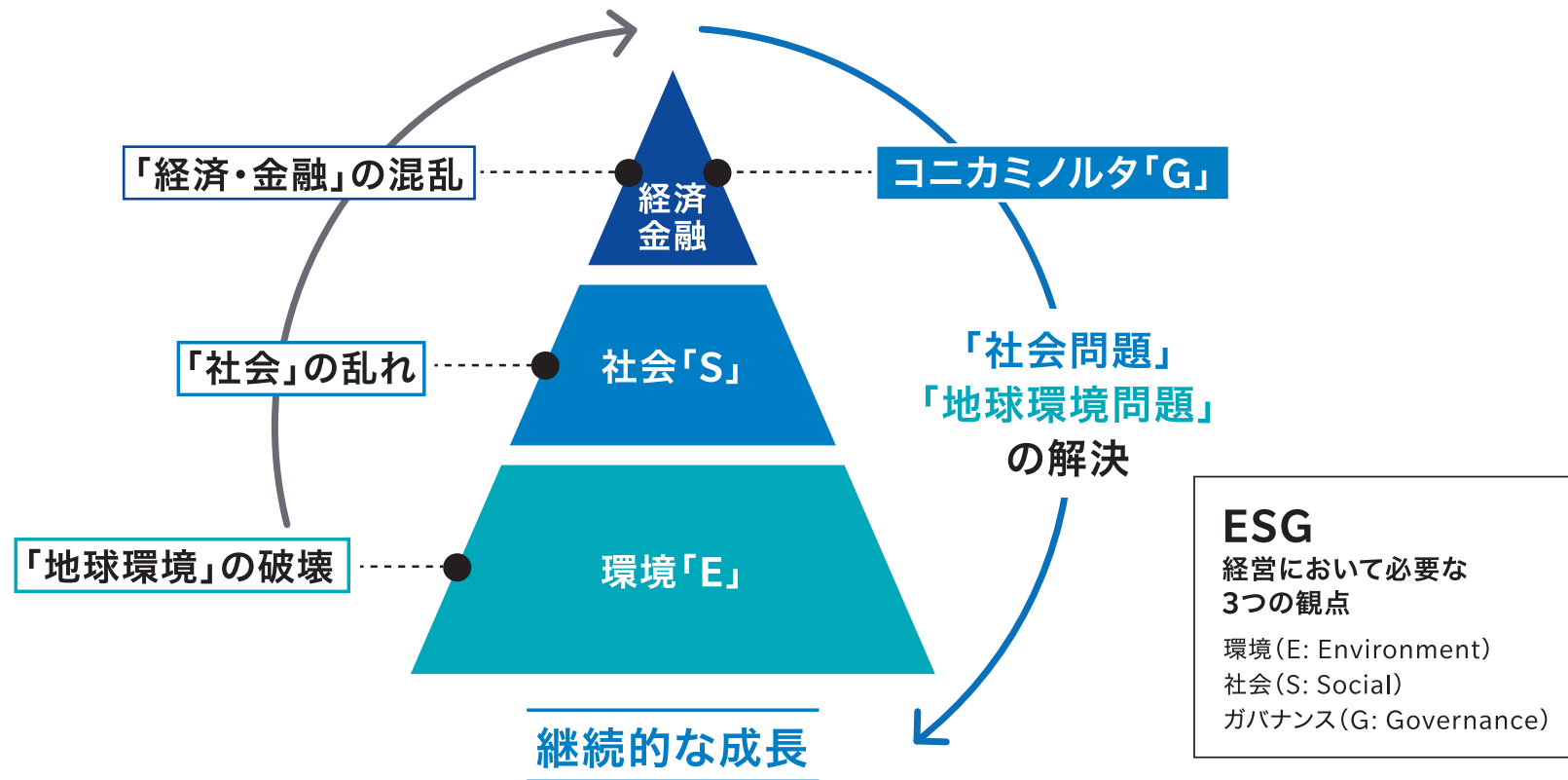
2021年8月時点

- オンデマンドプリント、オンデマンド生産で顧客プロセスの在庫や廃棄を排除  
商業・出版印刷の環境負荷をデジタルで低減——AccurioJet(アキュリオジェット) KM-1
- 材料およびそれを活用するプロセス技術でお客様企業のワークフロー上のロスやサプライチェーン間のロスの削減  
製品の省資源・リサイクル —斜め配向の「QWPフィルム」により、偏光板メーカーの生産性を飛躍的に向上
- 環境技術(リサイクル技術)を活用しグローバル環境課題解決
- 自社拠点での環境負荷低減と原価低減  
サステナブルファクトリー認定制度/生産活動での省資源・リサイクル
- DXを活用した調達先の環境負荷低減と原価低減  
グリーンサプライヤー活動
- ビジネスモデルと連動したサーキュラーモデルの構築  
製品の省資源・リサイクル/製品リサイクルの取り組み





5つのマテリアリティは、コニカミノルタにおける事業成長の戦略とつながっており、  
各事業活動の推進における基軸となるものです。  
それぞれの事業における価値創造プロセスに沿って顧客価値と社会価値の創出を目指して、  
事業成長とサステナビリティを統合した取り組みを進めていきます。



グローバル社会から賞賛・優秀な人材／資金の集結

## コニカミノルタは、「日経SDGs経営大賞」で大賞を受賞

「日経SDGs経営大賞」は、日本経済新聞社が実施する「日経SDGs経営調査」の結果に基づき、外部審査委員会が企業の取り組みや戦略を総合的に審査。毎年大賞1社、SDGs戦略・経済価値賞、社会価値賞、環境価値賞各1社が選ばれます。

コニカミノルタ株式会社は「第1回 日経SDGs経営大賞」(2019年)で大賞を受賞。大賞は、企業価値の向上と企業活動全体を通じたSDGsへの貢献を高いレベルで両立している、最も優れた企業に贈られるものです。また、第1回(2019年)～第3回(2021年)の3年連続で日経SDGs経営調査の格付けで「偏差値70以上」と高く評価されています。



日経  
SDGs  
経営大賞

コニカミノルタの  
評価ポイント

- 逆算思考で「課題提起型デジタルカンパニー」を目指す経営、社会課題解決に貢献するビジネスを実施
- トップのリーダーシップのもと、早い段階からサステナビリティ経営に取り組み、継続的に進化させていること